

# 令和2年度 第1回 貸出文庫新着案内

予約受付開始：令和2年10月21日（水）午前9時から

書名	著者	出版社	頁	内容説明
きりんじ 麒麟児	うぶかたとう 沖方丁	KADOKAWA (2018.12)	308p	慶応四年三月。鳥羽・伏見の戦いに勝利した官軍は、徳川追討令を受け、江戸に迫りつつあった。軍事取扱の勝海舟は徳川家を守るべく、決死の策を練る。官軍を率いる西郷隆盛との和議交渉にすべてを賭けて…。覚悟と決断を描く歴史長編。
祝祭と予感	おんだりく 恩田陸	幻冬舎 (2019.10)	186p	また彼らに、会える。待望の『蜜蜂と遠雷』スピンオフ短編小説集!大好きな仲間たちの、知らなかった秘密。入賞者ツアーのはざままで亜夜とマサルとなぜか塵が二人のピアノ恩師・綿貫先生の墓参りをする「祝祭と掃苔」。他全6編。
せいたかあわだちそう 背高泡立草	ふるかまこと 古川真人	集英社 (2020.1)	143p	大村奈美は、母の実家・吉川家の納屋の草刈りをするために、福岡から長崎の島に向かう。吉川家には「古か家」と「新しい方の家」があるが、いずれも空き家になっていた。奈美は2つの家に関して、伯父や祖母の姉に話を聞く。第162回芥川賞受賞
熱源	かわごえそういち 川越宗一	文藝春秋 (2019.8)	426p	日本人にされそうになったアイヌと、ロシア人にされそうになったポーランド人。文明を押し付けられ、それによってアイデンティティを揺るがされた経験を持つ2人が、樺太で出会い、自らが守り継ぎたいものの正体に辿り着く。樺太アイヌの闘いを描く長編小説。第162回直木賞受賞
ほの 星に仄めかされて	たわだようこ 多和田葉子	講談社 (2020.5)	354p	世界文学の旗手が紡ぎだす国境を越えた物語の新展開!Hiruko がつくり出した独自の言語、〈パンスカ〉が見知らぬ人々を結びつける。分断を超えた希望を描く、全米図書賞作家の新たな代表作。
ライオンのおやつ	おがわいと 小川糸	ポプラ社 (2019.10)	255p	若くして余命を告げられた雫は、瀬戸内の島のホスピスで残りの日々を過ごすことを決めた。そこでは毎週日曜日、入居者がもう一度食べたい思い出のおやつをリクエストできる「おやつの時間」があった…。毎日をもっと大切にしたいくなる物語。
るろう 流浪の月	なぎら 風良ゆう	東京創元社 (2019.8)	314p	再会すべきではなかったかもしれない男女がもう一度出会ったとき、運命は周囲の人間を巻き込みながら疾走を始める。新しい人間関係への旅立ちを描き、実力派作家が遺憾なく本領を発揮した、息をのむ小説。2020年本屋大賞受賞

・1タイトルにつき20冊所蔵しています。

・申込先：埼玉県立熊谷図書館 図書館協力担当

TEL：048-523-6291（代表）

FAX：048-525-2667（図書館協力担当直通）